

## 常議員会議長席から

### 常議員会議場の広がり

常議員会議長 橋本 敬 (43期)



常議員会の出席方法として、多摩支部会館からの参加の他に、本年度からオンライン出席が可能となった。

オンライン出席には、一定の期日前の申請及び許可事由等の条件が必要であるが、常議員会での出席の機会が増えた事は良い点である。但し、事務局の負担が増えた事から事務局には感謝しかない。

オンライン出席者がいたとしても、議長としての議事進行について、特に変更は無いと思っている。ただ、常議員として常議員会に出席した事は過去2回あるが、当然議長は初めてなので、この感想はあてにはならない。

気を遣うのは、議決の際である。それまで多摩支部会館からの参加はあったと思うが、オンライン参加もあった場合に裁決の確認には更に気を遣う。ただ、これも副議長の助けと、事務局の助けで何とかこなしていると思う。

常議員会は、原則毎月開催されており、審議事項も多数に及んでいる。議案も全て重要であり、資料の量も当然多く、毎回目を通すだけでも大変である。それより、感じるのは、執行部の熱意である。常議員会に提出するまでの活動だけでなく、常議員会での対応である。

常議員からの質問や要求等に対して、即応して対処する姿を見ていると、執行部の日々の努力を見た気がする。

最後に、常議員の方々にお願い、常議員会に出席して、1回でも質問か意見を述べて下さい。

日々の業務に忙しく、毎回事務局から送付される議案の資料を読みこなすのは大変ですが、自分が気になった、興味を持った議案に関し、資料を今迄以上に読み込んでみると、何か常議員会で発言したくなると思う。是非、議長である私から指名させて下さい。お願い致します。

### 議長席から見た常議員会

常議員会副議長 齊藤 園生 (45期)



昨年、常議員会の副議長のお役目の打診を受け、諸般の事情からお受けせざるを得ないことになってしまった。欠席、遅刻が許されない副議長の仕事は、正直いうと私にはちょっと負担感があり、重い気分だった。しかし就任してみると新たな発見があり、意外に面白い。副議長、お勤めです。

発見の1つは、副議長は結構忙しいということ。副議長は毎回常議員会の冒頭で出席者数と議事録署名者の指名をすればいいだけ、と思っていたが、それだけではない。挙手した人も、賛否の決も見落としがないよう注意しないとイケない。今年度からオンライン出席もできるようになり、パソコンの向こうの出席者にも注意しないとイケない。当初パソコンの不具合が続き、音や画像が出ず、あたふたしていた。副議長は寝ている暇はないのである（もちろん、

寝ていていいわけではない）。

2つめは、常議員会の議論がとてもよくわかること。執行部提案の議案には当然ながら様々な意見が出る。しかし最終的にこの線で行こうと議論がまとまって行く経過が目前で展開される。常議員会では「弁護士、弁護士会はどうあるべきか」という原則的な立場での議論が多く、これはとても大事なことではないかと思う。

3つめは、1回1回の常議員会が実にたくさんの準備を経て行われていること。執行部はもちろん、事務局、関係委員会など、実にたくさんの人の、膨大な労力を注入して、1回1回の常議員会が開かれている。その努力には本当に頭が下がる。

年度末までのあと数回の常議員会。充実した議論をお願いしたい。